

平成21年度佐賀環境フォーラム実績報告書

1 実施体制

組織体制は、佐賀大学・学生スタッフ・市民・佐賀市で構成する実行委員会形式

2 受講状況等

(1) 受講要件

高校生以上

(2) 受講料 (年間：前期・後期 ※スポット受講は講義のみ)

- ◇ 一般 : 5,000円
- ◇ 学生 : 1,500円 ※佐賀大学生は無料
- ◇ 法人 : 5,000円(1口) ※1口で1人枠とし、誰が受講しても可
- ◇ スポット受講者 : 2講義につき 1,000円
- ◇ スポット受講者(学生) : 2講義につき 300円

(3) 参加者数 ※[昨年度参加者数]

- ◇ 一般 : 32名[50名] ◇ 佐賀大学生 : 75名[43名]
- ◇ 法人 : 9社(10名)[7社] ◇ スポット(学生) : 0名[0名]
- ◇ スポット : 27名[120名] ◇ その他(大学職員) : 1名[0名]
- ◇ 学生 : 1名[2名]

3 事業概要

(1) 講義

- ◇ 平成21年5月12日(木)から平成21年7月9日(木)まで
- ◇ 午後7時から午後8時30分まで(※質疑応答：午後9時まで)
- ◇ 佐賀大学教養教育運営機構2号館 211番教室(本庄キャンパス内)
- ◇ 全12回

回	日程	講義内容	講師名	受講者数		計
				市民	佐大生	
1	5月12日(火)	環境問題総論・佐賀環境フォーラムについて	宮島 徹	42	54	96
2	5月14日(木)	地球温暖化の現状と将来予測	江守 正多	42	51	93
3	5月19日(火)	バイオマスと循環型社会	田中 宗浩	38	52	90
4	5月21日(木)	誰でも取り組めるグリーン購入の意義と現状	麴谷 和也	25	52	77
5	5月26日(火)	リコーグループの環境経営	坂本 文昭	31	54	85
6	5月28日(木)	佐賀大学におけるエコアクション21の取組状況	市場 正良	28	51	79
7	6月4日(木)	環境問題解決の糸口は地方から ーバイオマスタウン計画と地球環境緑蔭塾の試みー	加納 誠	38	54	92
8	6月11日(木)	リスク社会と予防原則	檉澤 秀木	32	46	78
9	6月18日(木)	エコアクション21の地域普及について	高山 能博	30	50	80
10	6月25日(木)	廃棄物対策の動向について	秦 康之	35	44	79
11	7月2日(木)	佐賀大学における化学物質管理 ー薬品・廃液・特産産廃を例としてー	岡島 俊哉	32	48	80
12	7月9日(木)	化学物質による身近な環境汚染とその対策	上野 大介	32	47	79
			合計	405	603	1,008

(2) 体験講座

1) 自然体験会（植生調査） 平成21年5月30日(土)

【目的】 植物は、その土地の気象・地質・地形、さらには人間を含む他の生き物などとの関係により適応した結果、現在の形をなしている。

自然に人の影響がどの程度あったのか、自然性がどの程度残されているかを示す一つの指標として調査し、自然環境を守り、育む意識の再確認を促すことを目的としている。

【内容】 佐賀市久保泉町、神埼市脊振町の2箇所の植生を見学し、脊振山頂で植生調査を実施した。

2) ごみ探検隊 平成21年6月20日(土)

【目的】 佐賀大学構内のごみ分別について調査することで、大学構内でのごみ分別方法やごみの減量化に努めることを目的としている。

【内容】 佐賀大学構内で出たごみを10班で再分別し、その調査結果からどうしたら分別が徹底できるかを考察し発表。

佐賀大学から排出されるごみの収集業者である(有)佐賀資源開発の方から、ごみの分別について説明をいただいた。

内 容	一般	佐大生	スタッフ	計
植生調査	12	5	7	24
ごみ探検隊	2	47	9	58
計	14	52	16	82

(3) 現地見学会

【日時】 平成21年7月4日(土)

【内容】 県内にある施設等の現地見学。以下の3コースのうち1つを選択。

- ① エネルギー : 佐賀大学海洋エネルギー研究センター — 中国木材(株)
- ② 企 業 : (株)ヤクルト本社 佐賀工場 — 味の素(株) 九州事業所
- ③ 3 R : 佐賀市清掃工場 — 九州食品工場リサイクル事業協同組合

コース	一般	佐大生	スタッフ	計
①エネルギー	9	12	2	23
②企業	8	22	2	32
③3R	4	6	3	13
計	21	40	7	68

(4) グループワークショップ

参加者がそれぞれの興味関心に沿ってグループに分かれ、各グループが研究テーマを決めて研究活動を行った。

	一般	佐大生	計
平成20年度	24	50	74
平成21年度	12	46	57

1) 研究テーマ

① 食と環境【継続：5年目（H17～）】

日本国内における各農産物（野菜）の表示の違いを課題とし、それぞれの表示における栽培方法の違いを調査・見学し報告した。

② 佐賀大学版EMS【継続：6年目（H16～）】

留学生のごみ分別に対する意識調査、ごみの分別調査を行い学内での分別の統一および分別表の設置、紙類の回収ボックスの設置等し、佐賀大学を世界一エコな大学へと提案した。

③ シックスクール【継続：7年目（H15～）】

室内環境の健康影響を考える事例として、シックスクール問題を取り上げ、シックハウス症候群の現状を理解するとともに、実際に佐賀市内の小中学校室内空気を測定し、シックススクールの発生原因やその対策について検討した。また、研究結果の一部を佐賀市へ呈し、行政においてどのような対策が講じられているかを検討した。

④ エコツーリズム【継続：7年目（H15～）】

佐賀地域における地域振興の形としてのエコツーリズムを確立するために、佐賀地域が有する観光資源を調査・検討し、学内の放置自転車再生によるツーリズムについて考察し、レンタサイクル事業の実施について提案した。

⑤ クリーク【継続：6年目（H16～）】

かつて行われていた低エネルギーの循環型農業である「ごみくい」を復活させ、クリークの底泥を有機肥料として農業に利用するため、底泥の安全性の評価を行うとともに、底泥の農業資材としての有効性について実験し検討した。

⑥ 水環境【継続：5年目（H17～）】

佐賀市の水環境を改善することを目的として、蓮池公園内にある池を対象として濾材による水質浄化実験を行うとともに、池の水質汚濁の原因究明に努め、水の入替え方法の改善策について検討した。

⑦ 環境教育【継続：2年目（H20～）】

幼保園児を対象とした環境教育を構築することを目的として、ホタルの一生を表現した紙芝居を作成し、幼稚園保育園に赴き実践することで、子どもたちに自然に親しみをもってもらい環境問題を直接的に伝えた。

⑧ エコ検定【継続：2年目（H20～）】

環境問題の基本的な知識を獲得するために、東京商工会議所主催の「エコ検定（環境社会検定試験）」を受験し、エコピープル（検定合格者）を目指した。

2) 各種会議

- ① 第1回全体会 平成21年 7月16日（木）
- ② 第2回全体会 平成21年10月15日（木）
- ③ 中間報告会 平成21年12月 5日（土）

3) 研究成果発表会

日 時：平成22年1月23日（土）

出席者：計65名（学生43名、一般14名、その他8名）

※ワークショップ研究成果発表会のDVDを作製し、市内各所へ頒布。

(5) 終講式

日 時：平成22年1月23日（土）

修了者数：【一般】27名（33名中）、【法人】5社（9社中）

4 その他

(1) 河川清掃

佐賀大学本庄キャンパス構内および周辺の河川清掃に取り組んだ。

春と秋の2回、地元自治会と佐賀大学教職員が共に実施。

①春の河川清掃 平成21年 4月26日（日）・・・62名参加

②秋の河川清掃 平成21年10月25日（日）・・・91名参加

※清掃終了後に、佐賀大学生協にて懇親会を開催

(2) 平成「打ち水」夏の陣2009

広く打ち水の実施を呼びかけることにより、市民や事業所等に対して省エネをはじめ、環境に配慮する意識を向上してもらうきっかけとした。

【呼びかけ期間】平成21年7月23日（木）～平成21年8月23日（日）

① 栄の国まつり 平成21年8月2日（日）・・・21名参加

② 佐賀城本丸歴史館 平成21年8月8日（土）・・・約40名参加

(3) ごみくい

主催：三気の会（元気・勇気・活気の会）

日時：平成21年12月23日（水）午前9時30分から

場所：兵庫町

(4) その他

第3回佐賀環境フォーラム・佐賀大学研究プロジェクト合同講演会

日時：平成22年2月21日（日）午後1時30分から午後6時10分

会場：佐賀大学理工学部6号館2階多目的セミナー室

※平成18年度から、佐賀大学と合同で開催している。

※フォーラムからは、ワークショップ「食と環境」「蓮池公園水質浄化実験」「シックスクール」「再生自転車を活用したエコツーリズム」についての研究報告を行った。

4 課題

(1) 現状

① 講義 …… ほぼ満足、具体的な要望あり

- ② 体験講座・現地見学会・・・ 現地見学会については、土曜に見学できる施設が少ないため
見学施設の選定が困難。
- ③ ワークショップ・・・ 今年度グループへの評価
- ④ 河川清掃・・・ 市役所主体の事業と勘違いされている傾向がある
- ⑤ 打ち水・・・ 実行委員会委員の参加が少ない

(2) 来年度に向けて

- ① 講義・・・ 受講者リクエストの反映（できる限り）
- ② 体験講座・現地見学会・・・ 現地見学先の選定（天候に左右されず、土曜日に見学できる
施設）
- ③ ワークショップ・・・ 研究テーマの見直し（研究テーマの統廃合等）
- ④ 河川清掃・・・ 大学主体での活動を
- ⑤ 打ち水・・・ 事業実施の際には検討が必要